

for 奉行シリーズ

 奉行Edge 仕訳入力クラウド

 奉行Edge 身上異動届出クラウド

 奉行Edge 勤怠管理クラウド

 奉行Edge 給与明細電子化クラウド

証憑保管 for 奉行シリーズ

起動するまでの手順書

目次

| | |
|----------------------------|------|
| 全体的な流れ | P.2 |
| 1 ユーザー登録とライセンスキーの確認 | P.4 |
| 2 サービス利用情報の登録 | P.7 |
| 3 『奉行製品』との接続 | P.11 |
| 4 「導入ガイド」等のダウンロード | P.13 |

※『証憑保管オプション for 奉行シリーズ』は、**4** は必要ありません。



全体的な流れ

1 ユーザー登録とライセンスキーの確認 P. 4

「登録番号カード」を用意し、弊社サポートサイト（奉行 Net サービス）から、ユーザー情報を登録します。



以下のメールが送られてきます。

[件名] 【OBC】ライセンスキー発行、および製品・サービス利用に関するご案内

《重要！》

複数の『奉行クラウド Edge (OBC i D利用)』または、『奉行クラウド Edge (OBC i D利用)』と『奉行クラウド』は、同じ環境 (同じ「OBC i D」) で利用できます。

そのため、すでに『奉行クラウド Edge (OBC i D利用)』または『奉行クラウド』をご利用いただいているかどうかで、以降の手順が異なります。

※ 『奉行クラウド Edge (OBC i D利用)』は、以下のサービスが該当します。

- ・『奉行 Edge 労務管理電子化クラウド』
- ・『奉行 Edge 仕訳入力クラウド for 奉行シリーズ』
- ・『奉行 Edge 身上異動届出クラウド for 奉行シリーズ』
- ・『奉行 Edge 労務管理クラウド for 奉行シリーズ』
- ・『奉行 Edge 勤怠管理クラウド for 奉行シリーズ』
- ・『奉行 Edge 給与明細電子化クラウド for 奉行シリーズ』
- ・『証憑保管オプション for 奉行シリーズ』

(『奉行クラウド Edge』でも、『奉行 Edge マイナンバークラウド』『奉行 Edge 年末調整申告書クラウド』『奉行 Edge ストレスチェッククラウド』『奉行 Edge 人材情報化クラウド』『奉行 Edge 人材育成クラウド』『奉行 Edge 目標管理クラウド』については、「OBC i D」は使用しないため、上記には該当しません。)

右の **2** へ進む

2 サービス利用情報の登録 P. 7

※ **2** の手順は、すでに『奉行クラウド Edge (OBC i D利用)』または『奉行クラウド』をご利用か否かで異なります。(詳細は P. 7)

手順を間違えると、後から法人データを一元管理できません。

ご不明な場合は、弊社サポートセンターまでお問い合わせください。

『奉行クラウド Edge (OBC i D利用)』
または『奉行クラウド』を・・・

はじめてご利用の方 P. 8

メールアドレスを入力します。



以下のメールが送られてきます。



[件名]
【OBC i D】サービス利用
情報を登録してください



法人名および、「登録番号」と
「ライセンスキー」を入力します。



以下のメールが送られてきます。



[件名]
【OBC i D】導入処理を
はじめてください



すでにご利用の方 P. 10

ご利用の『奉行クラウド Edge (OBC i D利用)』を起動して、
ライセンスを追加します。



※すでにご利用の『奉行クラウド Edge (OBC i D利用)』と同じ法人データを一元管理できます。

(ただし、『奉行 Edge 仕訳入力クラウド』の場合は、必ず新しい法人データが作成され、別の法人データとして管理されます。)



以下のメールが送られてきます。



[件名]
【OBC i D】導入処理を
はじめてください



3 『奉行製品』との接続

P. 11

当サービスにログインします。



サービスで接続情報をコピーし、『奉行製品』で貼り付けます。

4 「導入ガイド」等のダウンロード

P. 13

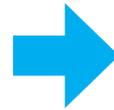
※『証憑保管オプション for 奉行シリーズ』は、4 は必要ありません。

1 ユーザー登録とライセンスキーの確認

①

<https://id.obc.jp/hc/entry>

「登録番号カード」を用意し、インターネットで、こちらへアクセス



②

「登録番号カード」に記載されている登録番号および確認番号を入力します。
※確認番号は、サービスによっては「登録番号」用と「OMSSコード」用の2種類の記載がある場合があります。その場合は「登録番号」用の「確認番号」を入力します。

登録番号の確認を行います

入力してクリック

③

各規約の同意に チェック

「サービス利用規約」に同意します。

「OMSS利用規約」に同意します。

「奉行 Netサービスの利用規約について」

「個人情報の取り扱いについて」

「個人情報保護方針（個人情報の利用）」に同意します。



ここをクリック

利用規約に同意して進む

④

製品登録番号の入力、確認

製品登録番号

電話番号

製品情報の読み込み

2製品目以降の場合は、ユーザー登録済み製品の「製品登録番号」と「電話番号」を入力し、「製品情報の読み込み」ボタンをクリックすると、お客様情報（会社名等）の入力を省略できます。

◎ OBC membership support & service情報

OBC membership support & serviceは、専用サービスを「製品」かつ「装置」して使い分けたいお客様向けサービスです。

OMSSコード 必須

製品登録番号 必須

「OMSS確認番号」が記載された商品をお持ちの場合は、「OMSSコード」と合わせてこちらに入力してください。サービスを開始いただけます。

「製品登録番号」が記載されていない場合は、お知らせのご返答をお願いいたします。

◎ OBC membership support & serviceの概要については、こちらをご覧ください。

確認する

入力してクリック

確認番号は、サービスによっては「登録番号」用と「OMSSコード」用の2種類の記載がある場合があります。ここでは、「登録番号カード」に記載されている「OMSSコード」用の確認番号を入力します。

※『奉行 Edge 勤怠管理クラウド』をご契約の場合で、『就業奉行 10』が同梱されている場合は、「OMSSコード」と「OMSS確認番号」の入力は不要です。

⑤

◎ ユーザー情報

以下の情報で登録を行います。

製品名

製品登録番号

会社名

会社名カナ

部署名

電話番号 必須

製品名カナ 必須

製品登録番号 必須

電話番号 必須

確認する

確認してクリック

⑥

ユーザー情報登録・OMSS開始 / 更新手続き

製品登録番号

ライセンスキー

ご登録ありがとうございます。

続けて他の製品のユーザー登録を行う場合は以下より行ってください。

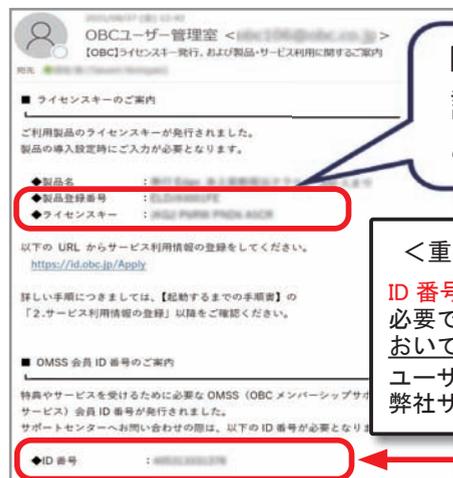
続けてユーザー登録を行う



※ご契約いただいたサービスによっては、表示内容が多少異なる場合がございます。

⑦ ⑤で登録したメールアドレスに、以下のメールが送られてきます。

件名「【OBC】ライセンスキー発行、および製品・サービス利用に関するご案内」



「登録番号」と「ライセンスキー」が記載されています。この後の手順で使用します。

<重要！>

ID番号は弊社サポートセンターにお問い合わせいただく際に必要です。このメールを保管するか、またはID番号を控えておいてください。

ユーザー登録が完了した後にご不明な点がある場合は、弊社サポートセンターまでお問い合わせください。

次ページの「**2** サービス利用情報の登録」の手順は、すでに『奉行クラウド Edge (OBC iD利用)』または『奉行クラウド』をご利用いただいているかで手順が異なります。

<注>手順を間違えると、後から法人データを一元管理できません。

ご不明な場合は、弊社サポートセンターまでお問い合わせください。

次ページの **2** へ進みます。

2 サービス利用情報の登録

ご利用状況に応じて、選択してください。

<https://id.obc.jp/Apply>

インターネットで、こちらへアクセス

『奉行クラウド Edge (OBC i D利用)』または『奉行クラウド』を…

※『奉行クラウド Edge (OBC i D利用)』は、以下のサービスが該当します。

- ・『奉行 Edge 労務管理電子化クラウド』
- ・『奉行 Edge 仕訳入力クラウド for 奉行シリーズ』 ・『奉行 Edge 身上異動届出クラウド for 奉行シリーズ』
- ・『奉行 Edge 労務管理クラウド for 奉行シリーズ』 ・『奉行 Edge 勤怠管理クラウド for 奉行シリーズ』
- ・『奉行 Edge 給与明細電子化クラウド for 奉行シリーズ』 ・『証憑保管オプション for 奉行シリーズ』

(『奉行クラウド Edge』でも、『奉行 Edge マイナンバークラウド』『奉行 Edge 年末調整申告書クラウド』『奉行 Edge ストレスチェッククラウド』『奉行 Edge 人材情報化クラウド』『奉行 Edge 人材育成クラウド』『奉行 Edge 目標管理クラウド』については、「OBC i D」は使用しないため、上記には該当しません。)

はじめてご利用の方

『奉行クラウド』へようこそ

すでに『奉行クラウド』をご利用中のお客様

奉行クラウド 奉行ERPクラウド 奉行クラウド Edge

すでに『奉行クラウド』をご利用中のお客様は、【進む】ボタンをクリックしてください。

進む

はじめて『奉行クラウド』をご利用になるお客様

はじめて『奉行クラウド』をご利用になるお客様は、【進む】ボタンをクリックしてください。

進む

すでにご利用の方

例えば、『勘定奉行クラウド』を利用中に『奉行 Edge 勤怠管理クラウド for 奉行シリーズ』を購入した際に、別の「OBC i D」で管理したい場合など、今まで利用していた『奉行クラウド Edge』や『奉行クラウド』とは、別のクラウド環境で利用したい場合は、次ページの「■ はじめてご利用の方」の手順を行ってください。ただし、後から法人データを一元管理できませんので、ご注意ください。

P. 10 へ

次ページへ

■ はじめてご利用の方

①

下側の「進む」をクリック

クリック

②

入力してクリック

業務用のメールアドレスを入力します。

※メールアドレスは、導入した後で「管理ポータル」の[利用者]メニューで変更できます。

③

入力したメールアドレスに、以下のメールが送られてきます。
件名「【OBC i D】サービス利用情報を登録してください」

ここをクリック

④

P.6の⑦のメールに記載されている登録番号とライセンスキーを入力

⑤

サービス利用情報の確認

STEP 1 メールアドレスの入力 STEP 2 サービス利用情報の入力 **STEP 3 サービス利用情報の確認** STEP 4 サービス利用環境の構築

以下の内容でサービス利用情報を登録し、環境を構築します。
登録はまだ完了していません。
内容をご確認のうえ、[実行]ボタンをクリックしてください。

| 法人情報 | |
|-------|--------------------|
| 法人番号 | 9 0000 0000 0000 |
| 法人名 | OBC 商事株式会社 |
| 法人名カナ | オービーシーショウジカブシキカイシャ |

| ライセンス情報 | |
|---------|------------------|
| サービス | 奉行Edge 管理クラウド |
| 登録番号 | 0000000000000000 |
| ライセンスキー | 0000000000000000 |

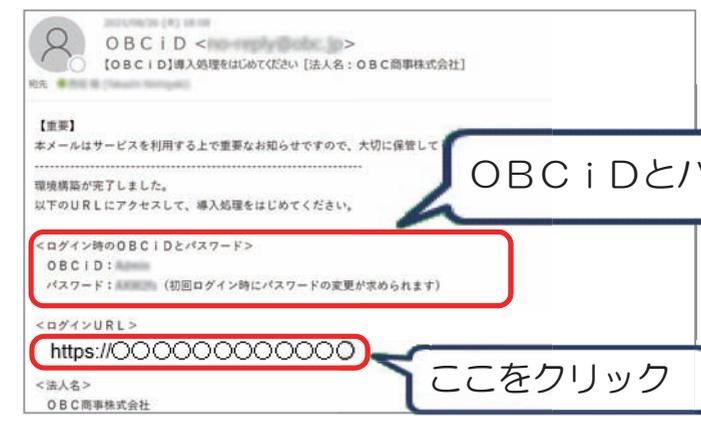
| 利用者情報 | |
|---------|----------------------|
| サービス | 奉行Edge 管理クラウド |
| OBC i D | Admin |
| 氏名 | システム管理者 |
| メールアドレス | test@edge.oabc.co.jp |

クリック

⑥

続いて、以下のメールが送られてきます。

件名「【OBC i D】導入処理をはじめてください」



OBC i Dとパスワード

ここをクリック

注意 上記のメールに記載されているURLは、今後も当サービスを起動する際に使用します。大切に保管し、今後システム管理者が代わる際は、新しいシステム管理者に上記のメールのURLをお伝えください。

⑦



統合業務プラットフォーム
奉行クラウド

OBC i D:

パスワードを保存する

OBC i Dとパスワードを入力して、をクリック

⑧

サービスが起動します。



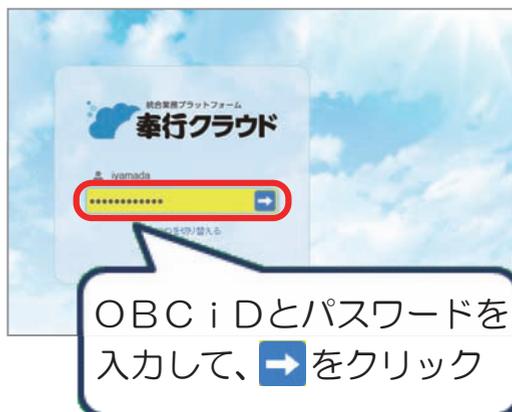
以上で、「■ はじめてご利用の方」の 2 の作業は完了です。

続いて、『奉行製品』との接続が必要です。

P.11 の 3 へ進みます。

■ すでにご利用の方

- ① 『管理ポータル』 を利用できるユーザーで、ご利用中の『奉行クラウド Edge』 にログインします。

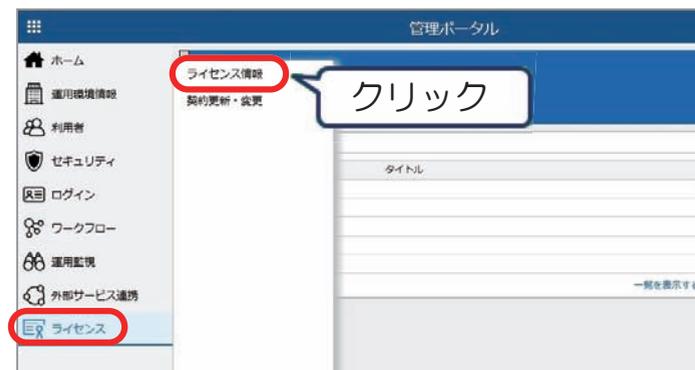


※ [ライセンス]-[ライセンス情報] メニューのメニュー権限があるユーザーでログインしてください。

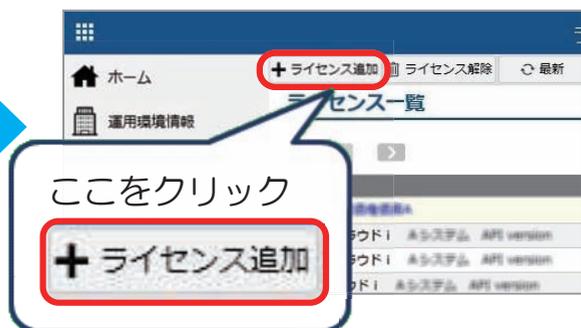
- ② 『管理ポータル』 を起動します。



- ③ [ライセンス]-[ライセンス情報] メニューを選択します。



- ④ 「ライセンス追加」 をクリックします。



- ⑤ ライセンス情報を入力し、[次へ] をクリックします。



※ 『奉行 Edge 仕訳入カクラウド』 の場合は、次に表示される「STEP 2」で法人情報を入力します。

- ⑥ [実行] をクリックします。以下のメールが送られてきます。

件名「【OBC i D】導入処理をはじめてください」



※メールに記載されている URL は、今後も当サービスを起動する際に使用します。大切に保管し、今後システム管理者が代わる際は、新しいシステム管理者に上記のメールの URL をお伝えください。

以上で、「■ すでにご利用の方」の ② の作業は完了です。

続いて、『奉行製品』との接続が必要です。

次ページへ進みます。

3 『奉行製品』との接続

あらかじめ、連携する『奉行製品』でデータ領域を作成しておいてください。

※手順は連携する『奉行製品』の「ガイドブック」をご参照ください。

※プロキシサーバーを利用している場合は、奉行製品と接続する前に必要な設定があります。
先に P.14 「補足：プロキシサーバーをご利用の方へ」の設定を確認してください。

＜『証憑保管オプション for 奉行シリーズ』の場合に、

『奉行製品』側で事前に必要な設定＞

- 『勘定奉行』の場合
[導入処理]-[会計期間設定]-[会計期間設定]メニューの[基本設定]ページで、電子証憑の保存を「2：クラウド（証憑保管）」に設定します。
- 『蔵奉行』の場合
[導入処理]-[運用設定]-[会社運用設定]メニューの【管理設定】-[電子証憑設定]ページで、証憑保管の利用の「証憑保管を利用する」にチェックを付けます。

① [運用環境情報]-[法人管理]メニューを開きます。

| 接続先 | |
|----------------|---------------------------------------|
| 勤怠管理クラウド | https://hromssp.obc.jp/XXXXXXXXXXXXX/ |
| 給与明細電子化クラウド | https://hromssp.obc.jp/XXXXXXXXXXXXX/ |
| 身上異動届出クラウド | https://hromssp.obc.jp/XXXXXXXXXXXXX/ |
| OBC i D 管理ポータル | https://id.obc.jp/XXXXXXXXXXXXX/ |
| 法人接続情報 | XXXXXXXXXXXXX |
| 企業識別ID | XXXXXXXXXXXXX |

情報のコピー をクリック

② 任意の「システム連携ID」を入力します。

※「システム連携ID」は、『奉行製品』と連携するためのIDです。
管理者用のIDとは別に、任意のIDを用意してください。

入力してクリック

クリック

③

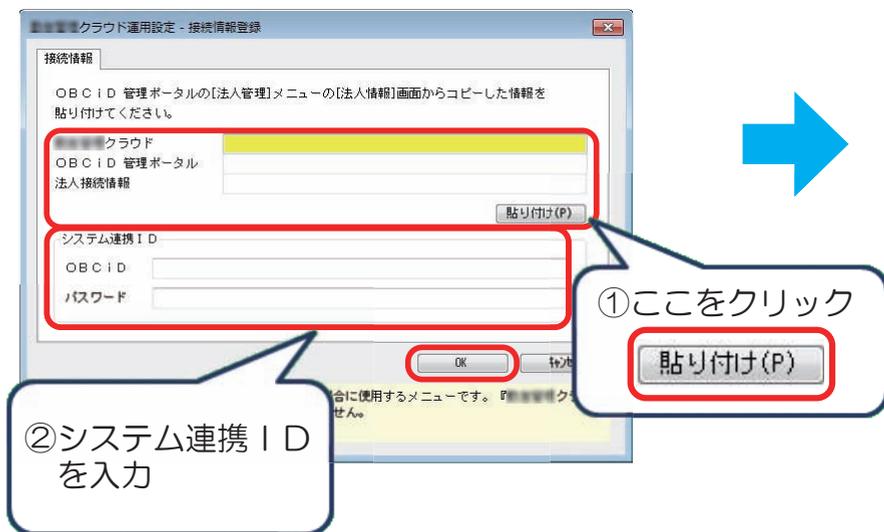
クリック

※上記画面が表示されない場合は、③へ進みます。

④『奉行製品』で以下のメニューを選択します。

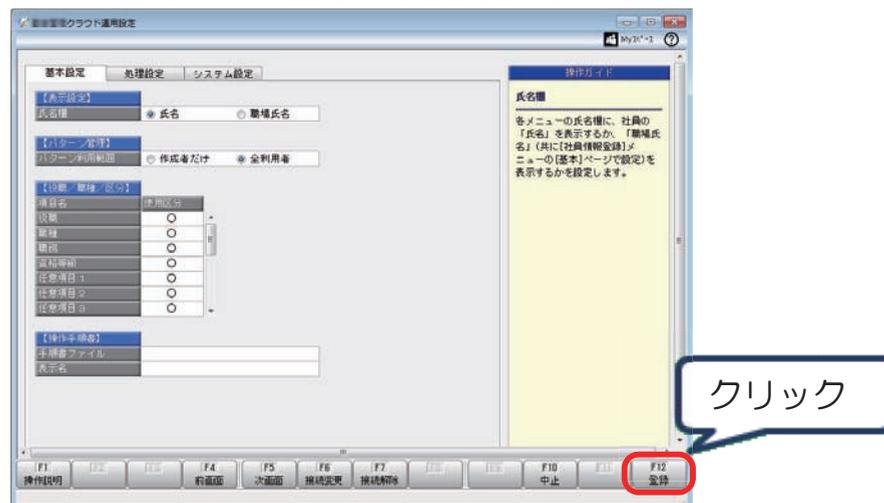
- 『奉行 Edge 仕訳入力クラウド for 奉行シリーズ』
- 『奉行 Edge 身上異動届出クラウド for 奉行シリーズ』
- 『奉行 Edge 勤怠管理クラウド for 奉行シリーズ』
- 『奉行 Edge 給与明細電子化クラウド for 奉行シリーズ』
- 『証憑保管オプション for 奉行シリーズ』

- : 『勘定奉行 Smart』『勘定奉行 11』の [導入処理]-[運用設定]-[仕訳入力クラウド連携設定]メニュー
- : 『人事奉行』の [導入処理]-[運用設定]-[身上異動届出クラウド運用設定]-[身上異動届出クラウド運用設定]メニュー
- : 『就業奉行 10』の [導入処理]-[勤怠管理クラウド運用設定]-[勤怠管理クラウド運用設定]メニュー
- : 『給与奉行』の [導入処理]-[運用設定]-[給与明細電子化クラウド運用設定]メニュー
- : 『勘定奉行』または『蔵奉行』の [導入処理]-[運用設定]-[証憑保管連携設定]メニュー



※『奉行 Edge 仕訳入力クラウド for 奉行シリーズ』の場合は、自動でマスターのアップロードが始まります。
[マスターアップロード状況確認] 画面が表示されますので、すべてのマスターの実行状況が「完了」と表示されたら、サービスを利用できます。
(画面を閉じて、マスターのアップロードの処理は継続されます。)

⑤ 下記の画面が表示された場合は、必ず【登録】ボタンをクリックします。
※『奉行 Edge 仕訳入力クラウド for 奉行シリーズ』『証憑保管オプション for 奉行シリーズ』の場合は、下記画面は表示されません。



以上で、「③『奉行製品』との接続」までの作業は完了です。

続いて、当サービスの導入作業に進みます。
ここからの作業は、奉行 Net サービスで当サービスの「導入ガイド」をダウンロードしてご確認ください。
「導入ガイド」のダウンロード方法は、次ページをご参照ください。

※『証憑保管オプション for 奉行シリーズ』は次ページ以降の作業は必要ありません。

4 「導入ガイド」等のダウンロード

※『証憑保管オプション for 奉行シリーズ』は「導入ガイド」等のマニュアルはありません。

続いて、当サービスのマニュアルをダウンロードしてください。

①

<https://www.obcnet.jp/docdl/>

インターネットで、
こちらへアクセス



②

＜※＞・登録番号は、当サービス（『奉行クラウドEdge』用）の登録番号です。
（連携する『奉行製品』の登録番号ではありません。）
・電話番号は、P. 5の⑤で登録した番号です。

登録番号と電話番号＜※＞
を入力してクリック

③

「導入ガイド」等をクリックして、ダウンロードします。

※提供されるマニュアルは、ご契約いただいたサービスにより異なります。

※『奉行 Edge 仕訳入力クラウド』の場合は、「導入ガイド」をクリックすると、Webページが開きます。



導入手順を記載しています。

続いて、「導入ガイド」に記載されている手順にしたがって、
当サービスの導入を進めてください。

補足：プロキシサーバーをご利用の方へ

当サービスは、『奉行製品』とインターネットを介して接続しています。

プロキシサーバーをご利用の場合は、『奉行製品』から当サービスに接続する際に、あらかじめ、『奉行製品』がセットアップされているコンピュータで以下の設定が必要です。

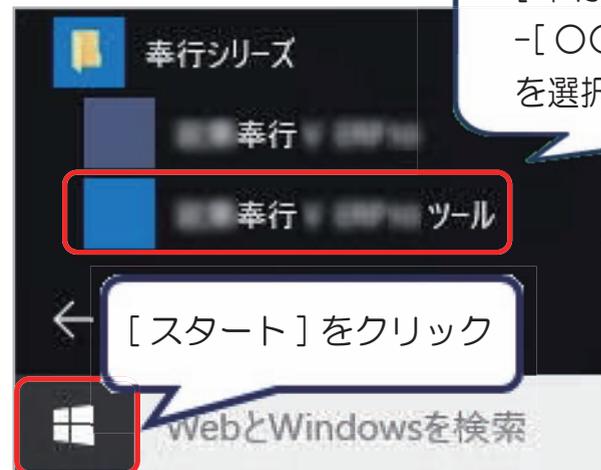
※プロキシサーバーを利用しているかは、ネットワーク管理者にご確認ください。

注意



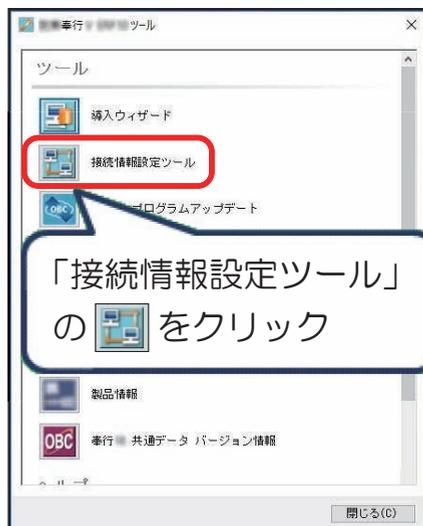
『奉行 11』の「ネットワーク版」と連携する場合は、『奉行 11』のサーバー用コンピュータで設定します。

①



※画面はOSや製品により、多少異なります。

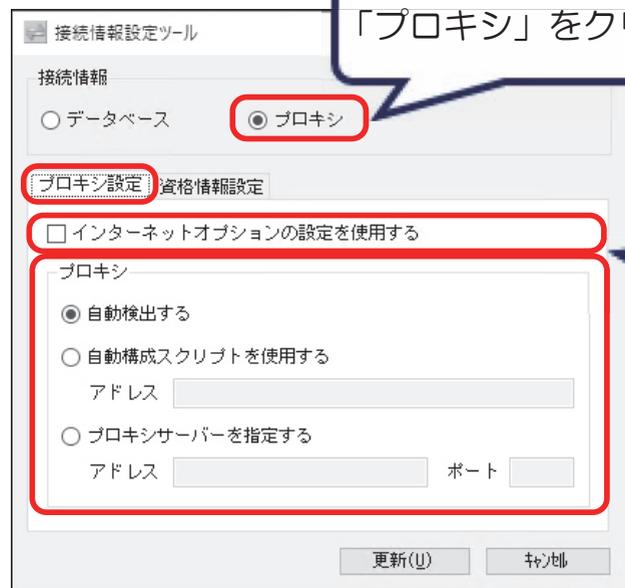
②



※画面は製品により、多少異なります。

※ユーザーアカウント制御のメッセージが表示された場合は、[はい] ボタンをクリックしてください。

③



[プロキシ設定] ページで「インターネットオプションの設定を使用する」のチェックを外し、プロキシサーバーへ接続する方法を設定します。

プロキシサーバーで認証されたユーザーだけをインターネット通信できるように設定している場合は、続いて次ページへ進みます。

設定していない場合は、[更新] ボタンをクリックして設定作業が完了です。

プロキシサーバーで認証されたユーザーだけをインターネット通信できるように設定している場合

① [資格情報設定] ページを開き、「資格情報を設定する」にチェックを付けます。

② 「ユーザー名」と「パスワード」に、プロキシサーバーの認証に使うユーザー名とパスワードを入力します。

③ クリック

以上で、プロキシサーバーに関する設定の作業は完了です。



Memo



Memo

— 禁無断転載 —

2025年 4月10日 第20版

著者 株式会社オービックビジネスコンサルタント システム開発グループ
発行所 株式会社オービックビジネスコンサルタント 出版部

<https://www.obc.co.jp>

■ 落丁、乱丁がございましたら、お取りかえいたします。

